

令和8年度第1回岡崎市環境審議会 会議録

1 開催日時

令和8年4月24日（金）午後2時から午後3時40分まで

2 開催場所

岡崎市役所福祉会館2階 201号室

3 内容

- (1) 本市の災害廃棄物処理対応について（報告）
- (2) その他

4 出席委員の氏名（五十音順）

(1) 出席委員

石川裕子、今村ひとみ、片岡明博、河江喜久代、川田奈穂子、阪口奈央
佐谷智、杉浦清、杉山範子、鈴木雅良、鶴田和男、鳥山紀幸、渡邊幹男、
吉永美香

(2) オンラインによる出席委員

橋本啓史

5 説明のために出席した職員の職氏名

環境部長：加藤元

環境部次長兼ゼロカーボンシティ推進課長：木村敏弘

環境部次長兼清掃施設課長：蜂屋光生

環境保全課長：山田章博

廃棄物対策課長：高木祐司

廃棄物対策課副課長：市川浩之

廃棄物対策課許可監視係長：森本徳恵

ごみ対策課副課長：神谷淳

ごみ対策課資源循環促進係長：中嶋正行

総合検査センター所長：雑賀章友

6 出席した事務局の職氏名

環境保全課副課長：山本寿男、同課環境政策係長：中村亮太、同課主事：生田
総司、同課主事：荒井千咲子

7 議事要旨

(1) 本市の災害廃棄物処理対応について（報告）

廃棄物対策課から、報告内容について説明した後、質疑応答がなされた。

（杉浦委員）

出したごみの安全性というところで、アスベスト等の危険物質や発火の可能性のあるものをセンサー等でモニタリングしていき、どういう処置をしていくのかというのが1点気になる。

また、計画全体が人に依存しており良いことだと思う。ただ、総代に色々な役割を担ってもらおうということも記載されているが、非常時のものなので特に周知が重要になると思う。周知への力の入れ具合はどれくらいか。

（廃棄物対策課）

仮置き場では、火災発生の懸念があるところはセンサーを付けてモニタリングしている。それ以外についても、運営者が目視で確認しながら対応している。また、大規模災害ともなると行政の力だけでは対応が難しいので、総代を始めとした市民の方へも御協力をお願いすることとなるが、平時における周知方法としては、市のごみ分別カレンダーによる紹介や防災訓練の際のチラシ配布等を行っている。

（今村委員）

外国人向けに、日本語以外で作成したものはあるか。

（廃棄物対策課）

多言語に対応したごみ分別カレンダーの一部に災害時のごみの出し方について記載している。

（渡邊会長）

災害廃棄物処理計画等はホームページに掲載しているか。

（廃棄物対策課）

災害廃棄物処理計画等やごみカレンダーはホームページに掲載している。また、アプリの「さんあ〜る」において、災害時のごみの出し方等も緊急でお知らせすることは可能である。

（杉浦委員）

「さんあ〜る」のアプリ自体は、試みとしてはいいことだと思うが、メンテナンスが続いており、レビューに厳しい意見があるため、しっかり対応させるといい。

（佐谷委員）

過去に総代をやっており、防災課による防災訓練等で呼ばれて何度か話を聞いたことがあるが、災害ごみの話は一切出たことがなかった。庁内での連携も進めてほしい。

(2) その他

環境部各課等から、それぞれ今年度の取組を説明した後、質疑応答がなされた。

【環境保全課に関して】

(鳥山委員)

アスベスト対策のところ、解体現場の立入りという話があったが、その辺りの手順を聞きたい。

(環境保全課)

基本的には業者からの届出を基に選定して立入りを行うこともあるが、通報等があった際に現場を確認しに行くこともある。

【ゼロカーボンシティ推進課に関して】

(杉浦委員)

市民の方から見ると、課名で何をしている課か分かりにくいため、難しいかもしれないが、課名変更を検討してはいかがか。

(ゼロカーボンシティ推進課)

市民の方に分かりやすいような名称も検討していく。

(吉永委員)

事業者向けの補助金で設備に対するものが羅列されているが、省エネ対策コンサルのようなサービスの提供はあるのか。

(ゼロカーボンシティ推進課)

現状では、サービスの提供がメニュー化されているものはない。ただ、昨年度は公共施設向けにはなるが省エネ診断も行っており、一定の成果があったので、そういったサポートをやっていくことで、中小企業等にも環境への取組に関心を持ってもらえるように努めていきたい。

(杉山委員)

ゼロカーボンシティという名前自体は、国の施策から生まれたものでどんどん全国的に普及していっている。ぜひ委員の皆様にも全国の中でも脱炭素先行地域の岡崎市はゼロカーボンシティとして様々な取組をしているということを周囲の人にも伝えていって欲しい。

(渡邊会長)

補助金について、3月は年度末で生活が変わり、補助対象となる人が多いが、年度末は補助金の予算が無くなっていることが多い。3月や4月にも補助を受けられるような方法はないか。

(ゼロカーボンシティ推進課)

手法としてやれなくはないが、基本的には単年度会計であるため、3月、4月は難しい。例えば電気自動車等であれば、ディーラーから問合せ数を聞いてニーズを把握し、ニーズのある時期に補助金を充てられるようにするなど検討していきたい。

【ごみ対策課に関して】

(佐谷委員)

資源回収の際の補助の金額がだいぶ減ってきている。

(ごみ対策課)

資源回収の報償費に関しては、量に応じて支払っている。報償費の単価に関しては特段変更はしていないため、個別に問合せしていただければ状況確認はさせていただく。

(今村委員)

排出されたごみ袋のカラス対策について確認をしたい。

(ごみ対策課)

カラス対策に関しては、立体型のネットでカラスが突きにくい物の配布も考えている。

(石川委員)

他市では、ごみ袋が1種類だけのところもあるが、岡崎市のように複数種類が必要なのか。また、中東情勢も考えると、袋代が上がるのではないか。

また、子供が少なくなってきたため、学校による資源回収が無くなり、自分たちで出してほしいと言われることもあり、少し不便になりつつある。

(ごみ対策課)

市民の方が誰でも分かりやすく分別できるように袋の種類を分けている。昨今の中東情勢の影響で袋代が上がる可能性は否定できないが、岡崎市では今のところ懸念はないと事業者を確認はしている。

【清掃施設課に関して】

(杉浦委員)

手数料の改定以降、搬入者が著しく減少したとある。ごみがそこまで減っているようには思えないのだが、この分のごみはどこに行っていると考えるか。

(清掃施設課)

事業者であれば発生抑制、家庭であれば大きな排出物を出すのを控えていたり、リサイクル等に回したりしている部分もあると思う。

以上

(午後3時40分終了)

会議資料

- ・令和8年度第1回岡崎市環境審議会 次第
- ・岡崎市環境審議会委員名簿、配席図
- ・議題1 本市の災害廃棄物処理対応について（報告）
- ・令和8年度岡崎市環境審議会 審議案件予定